つなぐ



袋井特別支援学校
支援連携課便り②
令和８年９月 30 日

朝夕は心地よい秋風が吹き抜け、ようやく過ごしやすい季節となってまいりました。日中は、まだ汗ばむ日もありますが、子どもたちは寒暖差に負けず、毎日元気に過ごしています。

「つなぐ」第２号となる今回は、交流及び共同学習について御紹介します。

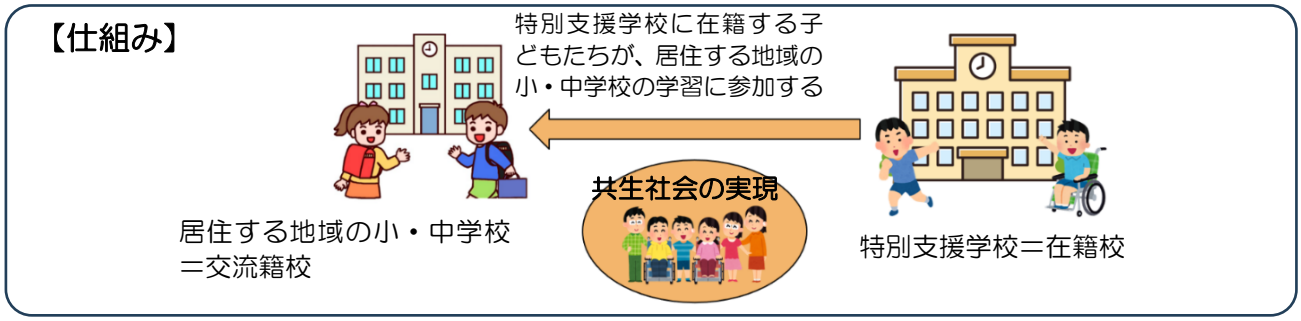
「交流籍」を活用した交流及び共同学習

今年度は、小学校 23 校、中学校８校の学校と交流を実施します。



「交流籍」を活用し、特別支援学校の児童生徒が、居住する地域の小・中学校での交流及び共同学習を行います。

【仕組み】



【交流籍とは】

特別支援学校の児童生徒に対する「地域の子ども」としての周囲の理解をこれまで以上に深めることを目指し、居住する地域の小・中学校に副次的な籍を置いています。この副次的な籍を静岡県では「交流籍」と呼んでいます。

【目的】

「交流籍」を活用した交流及び共同学習では、障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が一緒に参加し、相互の触れ合いを通じて豊かな人間性を育む交流の側面と、教科等のねらいを達成する共同学習の側面を目的にしています。（特別支援学校学習指導要領総則より）障害のない児童生徒は、豊かな人間性、心のユニバーサルデザイン、心のバリアフリーを育み、障害のある児童生徒は、地域との関係を深めることや、地域・社会で自立できる自信と力を育むことができます。

【活動内容】

昨年度は、学級活動などで、ボウリング、ボッチャ、フルーツバスケット、交流籍校児童が考えたレクリエーションに取り組みました。また音楽では、隣の交流籍校児童が見る教科書と同じページを開いたり、リコーダー演奏を聴いたりしながら参加する姿が見られました。今年度の取り組みについては、次号でお伝えします。

【「交流籍」を活用した交流及び共同学習実施希望人数】（７月１日現在）

	袋井市	磐田市	掛川市	森町
小学校	21 人	19 人	2人	3人
中学校	4人	8 人	0人	0人
実施希望数	25 人	27 人	2人	3人
実施校	13 校	15 校	1 校	2校





交流籍校担任と在籍校担任が交流についての事前打ち合わせを行いました。両担任が交流籍児童生徒の実態を共通理解し、「できること」「楽しめること」「年齢相応のこと」など活動内容を工夫することで、互いの児童生徒が関わり合い充実した交流が可能になります。事前打ち合わせが、交流活動の「成功の鍵」になる重要なものになります。事前打ち合わせを受け、担任から保護者の方に、日程や活動内容について、調整の連絡があります。充実した交流実施のため、保護者の方の御理解と御協力よろしくお願いします。

学校間交流



令和８年７月２日に、袋井高校の美術部、書道部と本校高等部１年生が交流を行いました。今年度のテーマは、「袋井の春夏秋冬」でした。

本校１年生は、総合的な探究の時間を通して、袋井の観光、特産物、産業、市の花や鳥などを調べました。美術の授業では、ちょうや風鈴、落ち葉、雪などのパーツを作りました。袋井高校美術部は、可睡斎や法多山などの観光地と、季節の美しい花々や木々などの下絵を描き、交流の準備をしました。

当日、体育館に集まり、交流がスタート！書道の担当になった４人は、半紙に「はる」「なつ」の文字を書道部と一緒に何度も練習し、うまく書けた１枚を選びました。美術の担当生徒は、美術部、書道部と一緒にクラスごとにパーツを下絵に貼りました。どちらの生徒にも笑顔が見られていました。貼り終わったクラスは、自己紹介をして更に交流を深めることができました。





素敵な共同作品が出来ました♪







